

## Session 2 Round Table

### All You Need is 'LOVE'? 「愛」へのまなざし：疑う、語る、見つめる

「愛」は議論するものだろうか？愛は思考するものではなく、それを感じ、それを生きる対象でしか有り得ないのだろうか？単に、意識的に、また無意識の内に「愛」を議論することを忌避しているだけではないのだろうか？

「愛」を議論するには、愛と向き合わなければならない。しかし、どのように？

ラウンド・テーブル『All You Need is 'LOVE'? 「愛」へのまなざし：疑う、語る、見つめる』は、愛をテーマに据えた多分野の研究者からの報告を基に、愛を語る試みである。それは、分析すると言うよりも、愛を疑い、愛に関する言説を聞き、愛を見つめ、また見つめ直す事によって自他の声の反響を体験することを目的とする。

中心となる概念は、

- 愛を語ることは可能か
- 愛の表現に多様性あるいは普遍性が見出せるか
- 愛はどのように人を動かし、また抑制するのか

の3点である。

「愛を語る」。陳腐にしてナイーヴ。高尚にして魅力的な難題。

司会： 後藤正憲

報告者：小松久恵、池直美、飯尾唯紀、宮本万里

討論者：参加者全員